

令和4年度 医療・介護関係者の研修 実施計画

令和4年度研修目的:

<1>地域の専門職の顔の見える関係づくりの場となる

また、コロナ禍における多職種連携の課題や現状を把握し、在宅療養に関わる知識を深め、実務に活かすきっかけとなる。

<2>現場で従事する専門職同士で共有・検討することで、医療介護の現場で直面した課題をチームで整理する際の一助となる

	開催予定日時	方法	テーマ 「認知機能が低下した高齢者の 意思決定支援」	研修内容(案)
第1回目	令和4年10～11月 19:30～20:30	WEB	認知機能が低下した高齢者の 意思決定支援 「認知症の早期発見と 医療へのつなげ方 ～認知症初期集中支援チーム利用例より～」	<p><内容> 初期集中支援チームについての紹介＋事例発表 ・認知症初期集中支援チーム紹介等の講義 ・事例発表</p> <p><目的> ・多摩市の一つの資源としての『認知症初期集中支援チーム』について知る。 (目的、どういう方が対象で、どのように使えるか)</p> <p>・また、事例を通して多職種との連携による認知症高齢者の医療へのつなげ方を考えるとともに、認知症の早期診断・対応は、「本人が本人の生き方を決めることができる」意思決定への大きなメリットがあることに気づき、早期取り組みへの足掛かりになる。</p>
第2回目	令和5年2月 19:30～20:30	対面＋ WEB	認知機能が低下した高齢者の 意思決定支援 「認知症の方の意思決定の対応、 どんなことに困っていますか？ ～事例を通じた意見交換 (グループディスカッション)～」	<p><内容> ・事例検討 ・各職の視点から対応への意見交換</p> <p><目的> ・事例を通じたディスカッションにより、各職種の視点や支援方法を学ぶことで、多職種間の相互理解と、今後の業務での連携に役立てることができる。</p> <p>・認知症の方への意思決定支援や対応で困難に感じていること等、各職種の課題を抽出することで、多職種で協力できること等の対応検討や、多摩市としての地域課題発掘へとつなげる。</p> <p>※グループディスカッションは以下を選択 ・対面方法(会場) ・WEBでのグループ機能を利用</p>

